

(一社)日本気象予報士会

長期予報利活用研究会 古季(記)録部会

【案内会ご参加の皆様へ】

長期予報は、近年、その利活用の範囲を、防災のみでなく、政治、経済や実生活面等にも広がりを見せつつあります。また、長い時間の経過の中で、過去の気候、気象を探ってそれが世の中の動きにどう影響したのかをみることも、長利研では課題の一つと位置づけ、**古季(記)録部会**を設立しました。ささやかな活動ですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

広島県は岩石の県です。



千葉県一宮市一宮
海岸の「風船爆弾打
上げ基地跡の碑」。
ジェット気流の発見は、
日本人。そして奇想
天外な兵器を生みま
した。



広島県大野町

「京都大学原爆災害調査班遭難記念碑」

昭和20年8月6日(月)午前8時15分

人類最初の原子爆弾投下。それでも

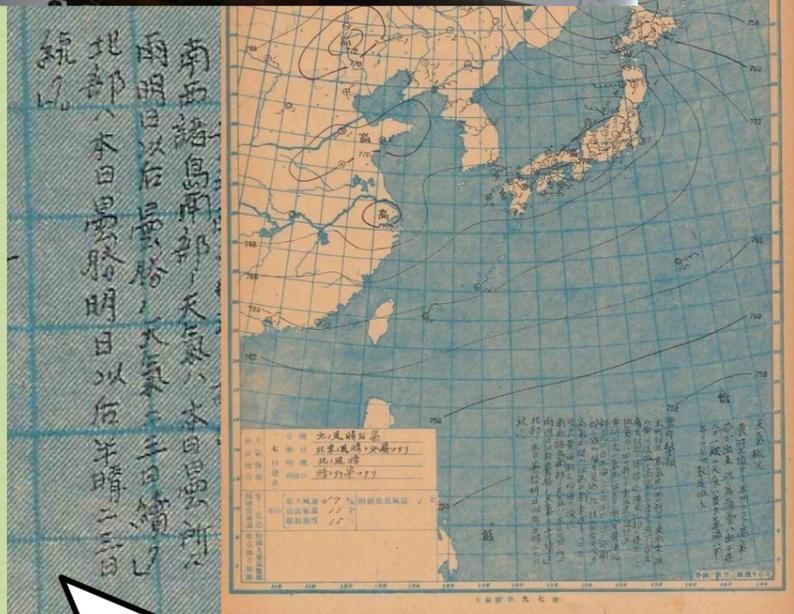
広島地方気象台の観測は続きます。

そして9月17日夜半、枕崎台風がこの

近辺を通過。土石流は病院ごと調査班

を押し流しました……。

気象史の上で忘れられないページです。



1945年4月7日 戦艦大和出撃

「南西諸島南部の天気ハ

本日曇所々雨」

巨艦大和は層積雲のため

その力を発揮できませんでした。



生前に描かれたといわれる上杉謙信の肖像画

上杉謙信公

永禄年間を中心にして8回も越後から関東へ遠征した方。それにも厳寒期でした。特に飢饉の際の遠征で何をしましたか？そこには生存競争というまじい戦いが見えてきます。

古季(記)録部会

代表 濱野 哲二 (千葉支部)

連絡先; 09027669551

Eメール; t-hamano@rio.odn.ne.jp